

株式会社ファースト
日本食品科学研究所 (JFS ラボ株式会社)

ヒト臨床試験の結果、ピュアアッシュコーラルの細胞内 DNA 酸化ダメージ低減効果が証明されました。

株式会社ファースト (本社: 東京都品川区、代表取締役社長: 矢野 浩司) と日本食品科学研究所 (JFS ラボ株式会社) (本社: 東京都文京区、代表取締役: 固城 泰史) は、6 ヶ月間 (平成 27 年~28 年)、35 名の成人を対象とし、「ピュアアッシュコーラル (原材料表示名: 水素焼成サンゴ末)」の抗酸化能および安全性評価を目的とするヒト臨床試験を実施しました。試験科目中「8-OHdG クレアチニン比」の試験結果を報告します。

同製品の抗酸化能 (ヒドロキシラジカルの消去能) は、かねてより電子スピン共鳴法 (試験管での検査) により証明されておりましたが、この度、体内におけるヒドロキシラジカルの制御能が確認されました。

背景 ピュアアッシュコーラル (原材料表示名: 水素焼成サンゴ末) 摂取による抗酸化能を試験した。

研究方法 対象者: 20 歳以上の成人男女 (28 名)

摂取方法: 2g / 1 日

摂取期間: 6 ヶ月間

測定方法: 尿中の 8-OHdG クレアチニン比を測定

分析結果 ピュアアッシュコーラル (水素焼成サンゴ末) 摂取開始前に 8-OHdG クレアチニン比が 20ng/mg CRE 以上 (強度の DNA 酸化ダメージ) であった 10 名を選定したケースでは、摂取開始後 6 ヶ月後で、10 名の 8-OHdG クレアチニン比の平均値が有意差をもって低下した。8-OHdG クレアチニン比の低下は、ピュアアッシュコーラルが酸化ストレス低減効果をもつことを示唆する。

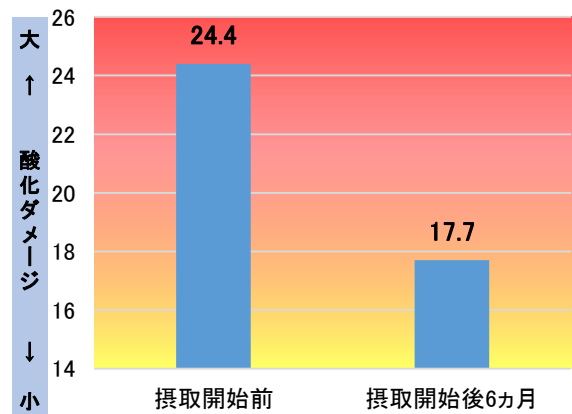
8-OHdG (8-Hydroxy-2'-deoxyguanosine) とは

遺伝子が活性酸素 (ヒドロキシラジカル) によって傷を負うと、8-OHdG という酸化損傷物質ができる。この物質が尿中に排出される量を測定することで、体内の酸化ダメージの度合いがわかる。8-OHdG の値が少なれば少ないほど酸化のダメージは少なく、多いほど酸化が進んでいることを示す。体内で活性酸素が過剰に作り出されると、抗酸化力が低下している状態となり、身体の中の細胞・組織・様々な分子が酸化されてダメージを受けている状態である。

標準値

強度の DNA ダメージ	20 ng/mg CRE 以上
中程度の DNA ダメージ	17~20 ng/mg CRE
軽度の DAN ダメージ	14~17 ng/mg CRE
注意ゾーン	11~14 ng/mg CRE
良好ゾーン	11 ng/mg CRE 以下

8-OHdGクレアチニン比 (ng/mg CRE)



検査結果 (10名の平均値)

検査日	摂取開始前	摂取開始後 6 ヶ月
検査結果 (ng/mg CRE)	24.4	17.7

試験実施医療機関 クリニック真健庵 〒108-0074 東京都港区高輪 4-18-10

倫理的配慮

- (1) ヘルシンキ宣言に準拠した
- (2) 試験参加者に対して試験内容を十分に説明し、試験参加への同意を 書面にて取得した

お問い合わせ先:

●株式会社ファースト

〒141-0001 東京都品川区北品川 5-7-14-1016 Tel: 03-5475-8967 / Fax: 03-5475-8968

Email: info@suiso1st.co.jp URL: http://hair-ib.com/

●日本食品科学研究所 (JFS ラボ株式会社)

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学フードサイエンス棟 Email: info@jfs.tokyo

DNA酸化ストレス度8-OHdG検査レポート

[体内老化度(細胞内DNAの酸化/サビつき度)検査]

検査日 年 月 日

氏名: 様
[ID番号:]

医療機関名:

住所:

TEL:

FAX:

老化を抑え、病気を予防する最新の検査です！

活性酸素とは？

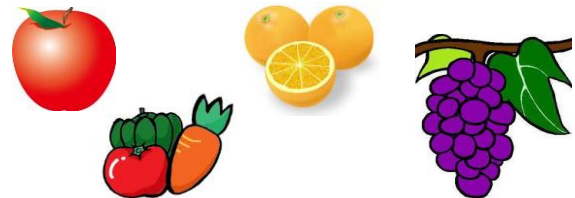
活性酸素は呼吸による代謝物で、適量であればエネルギーを作り出したり、殺菌作用などの免疫機能を果たしています。しかし、様々な悪い生活習慣によって体内の活性酸素が過剰になると、身体の中の細胞や組織をさび付かせ、老化を早めたり、生活習慣病を引き起こす原因になります。

活性酸素を過剰に増やしてしまう要因

- タバコ アルコール 精神的なストレス 過度な疲労
- 大気汚染・排気ガス 過度な紫外線 放射線 電磁波
- 過度は運動/運動不足 食品添加物 不規則な生活
- 偏った食生活(脂質・糖質の摂り過ぎ) 肥満 など

抗酸化力とは？

抗酸化力とは、身体を活性酸素によってさび付くのを防ぐ力です。食生活の中では、ビタミンC、ビタミンE、CoQ10やトマトのリコピン、お茶のカテキン、ポリフェノール、フラボノイド等、主に野菜や果物に多く含まれています。体内の抗酸化力が不足すると、活性酸素によるさび付き反応を止めることが出来ません。

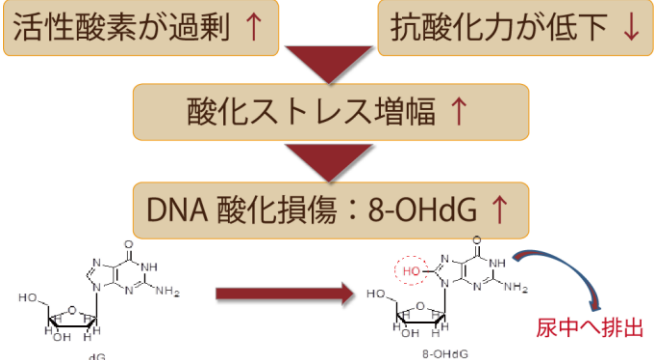


酸化ストレスはバランスの崩れ

■8-OHdG(細胞内DNA酸化ダメージ度)

酸化ストレスとは？

体内で活性酸素が過剰に作り出され、抗酸化力が低下している状態で、身体の「さび付き度」が過剰になっている状態です。つまり、身体の中の細胞・組織・様々な分子が酸化されてダメージを受けている状態です。



酸化ストレスと関係する病気など

- 老化促進 動脈硬化 発がん 皮膚の変性(しみ・しわ)
- パーキンソン病 アルツハイマー病 糖尿病性網膜症 白内障
- 気管支ぜんそく 虚血性不整脈 心筋梗塞 胃潰瘍
- 大腸炎 糖尿病 腎不全 など

標準値と検査結果

■標準値

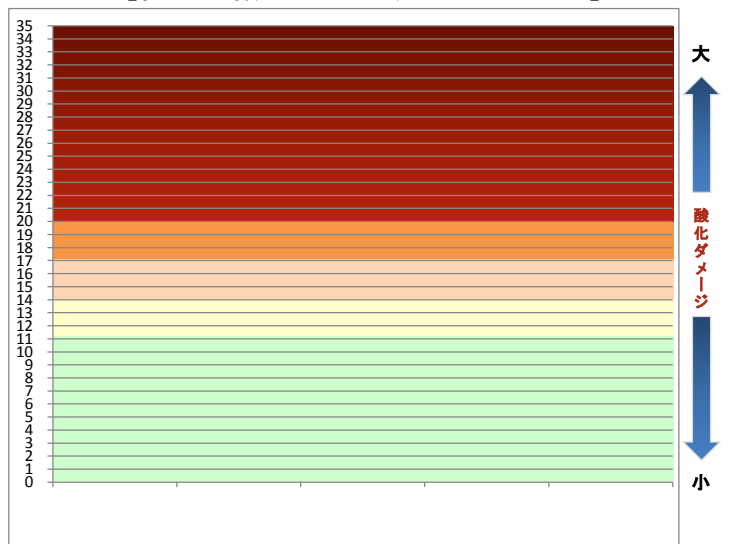
強度のDNA酸化ダメージ	20 ng/mg CRE 以上
中程度のDNA酸化ダメージ	17~20 ng/mg CRE
軽度のDNA酸化ダメージ	14~17 ng/mg CRE
注意ゾーン	11~14 ng/mg CRE
良好ゾーン	11 ng/mg CRE以下

※2016年7月現在(今後改変の可能性があります)

■検査結果

検査日	検査結果			
	8-OHdG	クレアチニン	8-OHdG/Cre比	単位
				ng/mg CRE
				ng/mg CRE
				ng/mg CRE
				ng/mg CRE
				ng/mg CRE

【細胞DNA酸化ダメージグラフ/8-OHdGテスト】



医師からのコメント

次回検査日